

論文審査基準

文学研究科

国文学専攻博士前期課程

修士の学位授与に関わる審査においては、以下の基準を踏まえ、総合的に評価する。

1. 研究テーマが明確であること。
2. 問題設定とその解明が適切になされていること。
3. 論旨が明快で、構成が一貫していること。
4. 先行研究を十分に踏まえていること。
5. 学術論文としての体裁が整っていること。
6. 新知見が含まれていること。

国文学専攻博士後期課程

博士の学位授与に関わる審査においては、以下の基準を踏まえ、総合的に評価する。

1. 研究テーマが明確であること。
2. 問題設定とその解明が適切になされていること。
3. 論旨が明快で、構成が一貫していること。
4. 先行研究を十分に踏まえていること。
5. 学術論文としての体裁が整っていること。
6. 研究史に寄与しうること。

英文学専攻修士課程

修士の学位授与に関わる審査においては、以下の基準を踏まえ、総合的に評価する。

1. 研究テーマが明確であること。
2. 問題設定とその解明が適切になされていること。
3. 論旨が明快で、構成が一貫していること。
4. 先行研究を十分に踏まえ、新知見が含まれていること。
5. 学術論文としての体裁が整っていること。

美術史学専攻博士前期課程

修士の学位授与に関わる審査においては、以下の審査基準を踏まえ、総合的に評価する。

1. 研究テーマ・研究方法が適切であること。
2. 論述内容が妥当であること。
3. 論述形式（引用など）が妥当であること。
4. 新知見が含まれていること。

美術史学専攻博士後期課程

博士の学位授与に関わる審査においては、以下の審査基準を踏まえ、総合的に評価する。

1. 研究テーマ・研究方法が適切であること。
2. 論述内容が妥当であること。
3. 論述形式（引用など）が妥当であること。
4. 新知見が含まれていること。
5. 体系的な考察が構築されていること。

生活科学研究科

食物栄養学専攻博士前期課程

修士の学位授与に関わる審査においては、以下の審査基準を踏まえ、総合的に評価する。

1. 研究目的が明確であること。
2. 研究方法が適切で、具体的に記述されていること。
3. 結果、解析、考察に至る全体の構成が適切で、論理的に記述されていること。
4. 新規性のある結果が明示されていること。
5. 引用等が適切になされ、論文としての体裁が整っていること。

食物栄養学専攻博士後期課程

博士の学位授与に関わる審査においては、以下の審査基準を踏まえ、総合的に評価する。

1. 先行研究の調査が適切に行われており、当該研究の位置付けが明確に示されていること。
2. 研究分野の学問研究に貢献できる課題を含み、新規性のある結果が明示されていること。
3. 研究方法が適切で、具体的に記述されていること。
4. 結果、解析、考察に至る全体の構成が適切で、論理的に記述されていること。
5. 引用等が適切になされ、論文としての体裁が整っていること。

生活環境学専攻修士課程

修士の学位授与に関わる審査においては、以下の審査基準を踏まえ、総合的に評価する。

1. 研究目的が明確であること。
2. 研究方法が適切で、具体的に記述されていること。
3. 結果、解析、考察に至る全体の構成が適切で、論理的に記述されていること。
4. 新規性のある結果が明示されていること。
5. 引用等が適切になされ、論文としての体裁が整っていること。

人間社会研究科

人間社会専攻修士課程

修士の学位授与に関わる審査においては、以下の審査基準を踏まえ、総合的に評価する。

1. 文献性：先行研究・文献のレビューを的確に行っているか。
修論のテーマに照らして文献の選択は適格であるか。
2. 論理性：実証的見地（仮説立証的アプローチ）から論理を展開しているか。明確な問題設定および結論付けがなされているか。
論旨に一貫性は見られるか。
3. 独自性：自分なりの考え方や分析フレームで論理を展開しているか。
従来の研究に照らし新しい視点や論文としての斬新性は見られるか。
4. 有用性：論文の帰結はこれまでの研究に示唆を与えるものとなっているか。
論文より導き出された結論はその適用範囲が広がりをもっているか。
5. 発展性：論文の方向としてさらなる研究の進展が望めるか。
第三者の視点から論文として残された課題が明確になっているか。